

今年の干支は、十二支の一一番めにあたる「子年」です。ネズミは大黒天の使いとされ、子年は「五穀豊穣」が実り、株式相場では「繁栄」で上げ相場になる年といわれています。私たちセンター会員も、この年にこれまで培つた知識や経験を糧にさらなる「生涯現役」を目指していきたいと思います。

互助会行事につきまして日頃より深いご理解とご協力をいただき御礼申し上げます。すでにご承知のように互助会は慶弔事業のほかに会員の福利厚生事業として、就業によらない行事を通じて会員の親睦交流を目指しております。

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、令和二年の新春を健やかに迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

今年の干支は、十二支の一一番めにあたる「子年」です。ネズミは大黒天の使いとされ、子

年は「五穀豊穣」が実り、株式相場では「繁栄」で上げ相場になる年といわれています。また、趣味を通じた同好会の書道、表装、ゴルフ、グラウンドゴルフ、スポーツ吹矢、カラオケ、ウォークイング＆ハイキング等の、就業とは別の楽しい生きがいにもさらなる期待をしています。

互助会の運営委員会が、会員皆様のご意見ご要望を取り入れながらより良い活動内容充実に努力しますので引き続きご協力をお願いします。

結びに、この一年が会員の皆様にとってご多幸でご健勝であることを心からご祈念申上げ、新春のご挨拶といたします。

互助会会長  
千賀 悅二郎



## 新年のご挨拶

# 互助会だより

第17号

発行日  
2020年1月31日  
発行者  
会長 千賀悦二郎



日立バイパス 広報員西方撮影

令和二年一月十五日、鵜の岬カントリーブラザにおいて、安全祈願祭に引き続き賀詞交歓会を開催しました。来賓に梶山副市長、伊藤副議長、佐川高齢福祉課長のご臨席をいたしました。今橋理事長、梶山副市長、伊藤副議長、千賀互助会長から新年の挨拶をいただき、鏡開き。乾杯の後、懇親を深め、恒例の抽選会で盛り上がり、最後は三本締めでお開きとなりました。



梶山副市長、伊藤副議長を囲んで、盛大に鏡開き



鈴木剛男さんが大吉をゲット

## 令和二年賀詞交歓会



参加はしたが、ほとんどが初めての顔、知り合いに会う時間もなかった。舌切り雀の宿は、昔はなしある話だったかな、と考えても思い出せないなか、いざ宿へと早い時間に到着しました。まずは温泉に入り、土産売り場近くをうろついていると、昔ながらの舌切り雀の人形劇があり、「婆さんが一生懸命作った食べ物を雀が食べてしまい、雀の舌を切る」という話でした。モヤモヤスッキリ。

八十四人と言う大宴会は、いまどき、なかなか見られない、壮大な光景で、カラオケ、抽選会と笑いの絶えない時間を過ごしました。

旅行の一一番の収穫は、部屋での情報交換でした。会員の皆さんとなかなか話すことができない、色々な分野で仕事をしている方々から、職場環境、人間関係、これからシルバーの難しさ等々、自分にないものを手に入れることができました。帰りはコンニャクラーメンをお土産に、楽しくうれしく元気に帰ってきました。

(大森守記)

互助会恒例の親睦旅行が、今までにない、総勢八十四人の参加のもと行われました。初めて参加した私は不安やら、疑問がいっぱいのなか、さあー出発です。参加は足腰が悪くても大丈夫、出迎えは近くのバス停までバスが迎えにきてくれました。これには参加者から「助かったわ」との声。さすが気遣いが違うシルバー人材センターです。

温泉好きな私は行く前から気になっていた舌切り雀の宿、昔はなしある話だったかな、と考えても思い出せないなか、いざ宿へと早い時間に到着しました。まずは温泉に入り、土産売り場近くをうろついていると、昔ながらの舌切り雀の人形劇があり、「婆さんが一生懸命作った食べ物を雀が食べてしまい、雀の舌を切る」という話でした。モヤモヤスッキリ。

か見られない、壮大な光景で、カラオケ、抽選会と笑いの絶えない時間を過ごしました。

旅行の一一番の収穫は、部屋での情報交換でした。会員の皆さんとなかなか話すことができない、色々な分野で仕事をしている方々から、職場環境、人間関係、これからシルバーの難しさ等々、自分にないものを手に入れることができました。帰りはコンニャ克拉ーメンをお土産に、楽しくうれしく元気に帰ってきました。

楽しい人でした。しかしバスが出発すると茶菓子飲み物が配られ、バス宴会場に早変わり。話し声が聞こえないほどの大盛り上がり、二、三時間の車中はあつという間に過ぎていき、私の初参加不安もいつの間にか吹っ飛んでいました。

## 「舌切り雀のお宿 群馬県磯部温泉の旅」



## カラオケ同好会活動報告

会長 青木 六合夫



平成二十八年四月「仲間同士が楽しく健康寿命を延ばそう」をスローガンに、会員三十人で発足したカラオケ同好会。現在は五十人に増え、月例会と半年に一度の発表会という形で活動しています。月例会は南部と北部に分かれて活動し、発表会は南北一緒になりました。今回より皆の前で「話をしよう」を合言葉に今までの司会者進行をやめ、自身で名前、歌う曲名を言ってから歌う。そうすることにより「脳の活性化」が進み、「脳梗塞の予防」につながる。次はボケ防止のために歌詞を見ないで歌う、ということを皆の目標としています。

今後も歌を楽しむとともに、今まで一味違う活動をしていきたいと思っています。希望者はお気軽にご参加ください。